

事業概要シート

施策 0503 医療体制の充実

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	夜間初期診療事業	現状維持	予算額	63,369 千円
			《 》	62,405 千円
事業期間	平成19年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市夜間初期診療センター条例、大村市夜間初期診療センター条例施行規則		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	26,561 千円
			一般財源	36,808 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

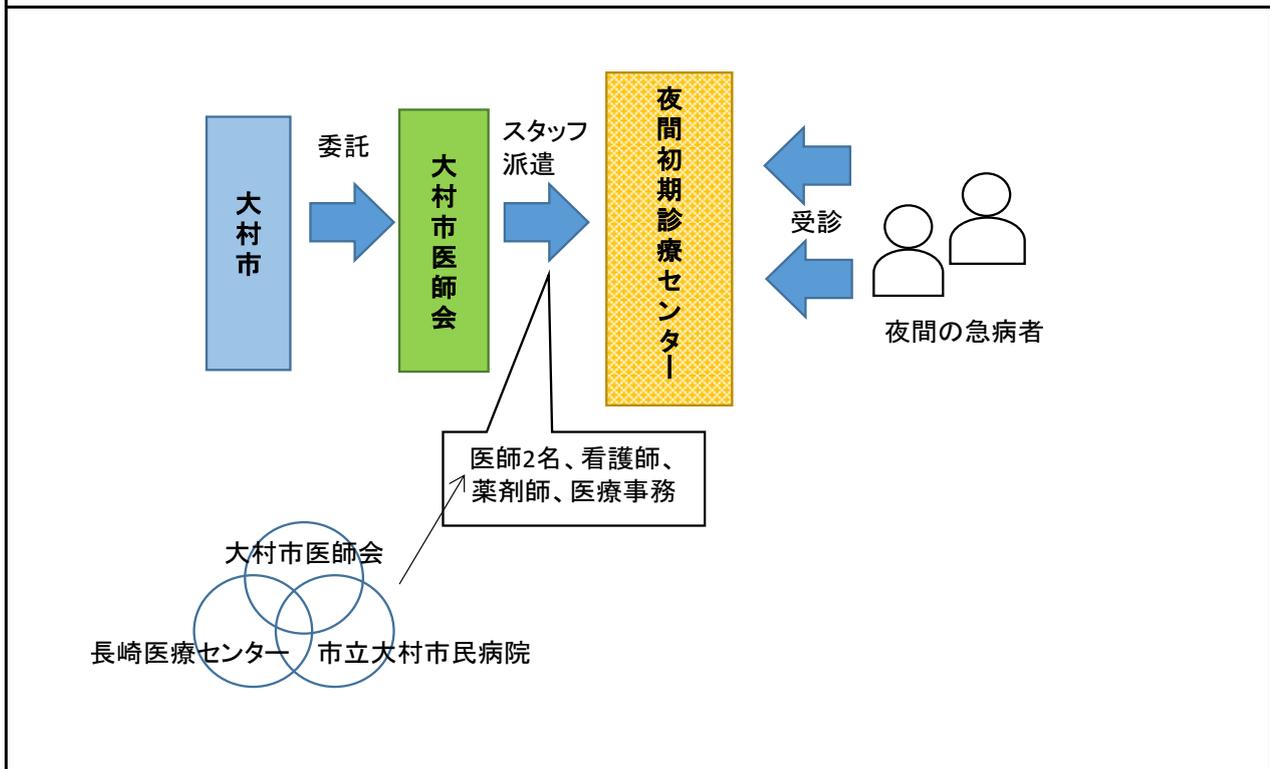
夜間初期診療センターの設置により、民間の医療機関の診療時間終了後の19時から22時までの時間帯における急病者に対応する。

【概要】

こどもセンター内に夜間初期センターを開設し、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院から派遣された医師2名が毎日交代で診療にあたる。

【対象】

小児科・内科の急病者



【背景】

夜間において、重症・重篤患者を受け入れる高度救急医療機関に多くの軽症患者の受診があり、本来の救急医療体制に支障が出てきていた。

市民に安全・安心な医療を提供するためには、初期・2次・3次救急医療機関の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じた救急医療体制を構築することが必要であることから、夜間の小児科の初期診療を担う施設として、平成19年4月に「こども夜間初期診療センター」を開設。平成25年5月に内科が加わり、現在は「夜間初期診療センター」として診療にあたっている。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	橋本 学
担当者	三原 志穂	問合せ先	0957-53-4111 (内線152)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	受診者数	人	4,255	4,265	4,750	4,875	5,000
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	使用料	千円	26,673	27,369	26,281	26,281	26,281
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	62,445	63,143	62,405	63,369	63,369	63,369	378,100
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	26,673	27,369	26,281	26,561	26,561	26,561	160,006
一般財源	35,772	35,774	36,124	36,808	36,808	36,808	218,094
人件費	3,890	3,884	3,904	3,904	3,904	3,904	23,391
職員(人)	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	3.18人
時間外勤務(h)	18h	15h	25h	25h	25h	25h	133h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	66,335	67,027	66,309	67,273	67,273	67,273	401,491

妥当性 (市の関与)	重篤な患者に対応する2次・3次救急医療機関の負担を軽減し、救急医療体制を確保するため、小児科及び内科の初期診療を行う本事業は必要であり、関係機関との連携を図るため、市が主体的に進めることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	市民に安全・安心な医療を提供するために、初期・2次・3次救急医療機関の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じた救急医療体制の構築に貢献するものである。
効率性 (コスト)	医師の確保については、大村市医師会と委託契約を結び、診療にあたっている。施設管理は、こどもセンターと一括して管理するなど効率的な事業の実施に努めている。また、医薬材料費については、実績に応じ適正に調達するなど、支出の削減に努めている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり